

Rina Inoue



Kumwetulira

Mwa dzuka bwanji ? Dni ka lankhula Ntaja.

関町北小学校のみなさん、こんにちは。先週は、東京でも雪が積もったと聞きました。みなさんの周りはどうでしたか。マラウイではトウモロコシがわたしよりも大きくなるくらいまで伸びてきました。晴れていても、突然雨が降り出すので本当にびっくりしますが、マラウイの主食メイズは今年も収穫ができそうです。

さて、今日は前回ゲストティーチャーで来てもらった国会議員をしている Mr.Ajiru の生まれた村であり治めている村「Ntaja」に遊びに行った話をしたいと思います。

リウォデから東、モザンビークとの国境のほうへ1時間程度車でいくと「Ntaja」の町は出てきます。村の中には、マーケットとその近くに小学校と併設した中学校がありました。マーケットは村の人々にとっての唯一の買い物の場所。もちろん畑で採れた野菜などが並んでいます。マーケットがあるところから少し離れたところにもおじゃましました。家がちらほらと建っているだけで、買い物をするところはほとんどありません。みんなマーケットまで行っているようです。車でも酔いそうになるでこぼこ道が続いていました。学校に通うの大変だよな・・・。と思っていたら、小さな学校が建てられていました。本当に積み上げられたレンガと芝草の屋根の学校でした。低学年の近くに住む子どもはこの学校に通っているそうです。

マーケットのほうまで戻ると、幼稚園の子どもたちの発表会に参加しました。村の中には5つほど幼稚園があるそうで、通っている子どもたちが集められ、パフォーマンスを行っていました。どの子どもも一生懸命でとてもかわいかったです。

この「Ntaja」の村には、1990年代に日本(JICA)の大規模支援により、井戸が作られたそうです。Ajiruさんはとてもよく覚えていて、とても感謝している。と言われます。村の人々からもたくさんの温かい歓迎を受けました。自分が直接かかわったことではなくても、「日本に感謝している」と言われると嬉しくなりますね。

帰り道は、お米の産地である「Nsanama」という村でお米を買いました。収穫したお米を精米してもらいました。おいしいです。

学校です。
セントテレザとも
また違いますよね。



一生懸命おぼえたことを発表していました。立派でした。



お米を精米してくれます。たくさんストックされています。

